

掛川お茶大使 & 日本茶インストラクター

吉岡亜衣加のお茶の間通信



きらきら保育園の皆さんと。
かわいい笑顔に癒されました。

茶工場にも足を
運び、外から見学
させていただきました。



摘んだ茶葉は天ぷらに。園児の皆さんは、それぞれ感想を言い合いながら、茶葉の味を楽しんでいましたよ！

明るい明黄色の新芽が芽吹くお茶畑、園児の皆さんの輝く笑顔にたくさん癒された1日でした。

この後は摘みだての茶葉を天ぷらにしても、持参したおにぎりとともに、お昼ご飯です。お茶を摘んでいる時にも「天ぷら楽しみなあ」と呟っていた子もいて、待ちわびた昼食でした。摘みだての茶葉を天ぷらで食べられるなんて、お茶の産地ならではのなんともぜいたくな食べ方ですね。抹茶塩を付けながら、園児の皆さんは「苦くて甘い」「おかわりー」とそれぞれ感想を言い合いながら楽しく天ぷらを味わっていました。私もお裾分けしていただき、一口食べるとほっくりとしたうまみとほろ苦さのあるお茶の葉の天ぷらで、皆さんとお茶摘みをしていただいた先ほどのことを思い出しました。

5月上旬に、東山地区で掛川市のきらきら保育園の皆さんとお茶摘みをさせていただいてきました。この日は天気も良く、お茶摘み日和。バスでやって来た園児の皆さんは、降りてくると頭に手拭いをかぶって、いってなともかわいらしい姿です。なんと、八木留里子園長先生から私にも手拭いをどうぞとお貸しいただき、皆さんとお揃いでますますやる気が出てきました。

お茶畑に入る前に、東山いづく処の杉山敏志さんから栗ヶ岳に浮かぶ「茶文字」についてやお茶の摘み方の説明を受け、園児の皆さんもしっかりとお話を聞いていました。実際に茶畑に入ると「たくさん摘むよー」「園でもお茶が出るんだよね」「お茶は苦くても好き」など園児同士でお茶についてお話をしたり、私にも「お姉さんと摘むー！」「僕の方がいっぱい摘んでるよ」と見せてくれたりしました。

お茶摘みを終えたところで、世界農業遺産になっている茶草場農法について先生よりお話があり、興味深く耳を傾けている園児の皆さんの姿が見られました。農家さんが日頃から丁寧に管理されているお茶畑に実際に入り、一芯二葉で摘むことを意識してお茶の葉をよく観察したりと、とてもすてきな茶摘みの時間となりました。

そして、お茶摘みの場所から少し歩き、東山の茶工場にも足を運びました。茶農家の方が運んできた茶葉がベルトに乗って移動していくところや、稼働している大きな機械を見



東山地区でお茶摘みを体験しました。この日は天気も良く、お茶摘み日和でした！

新芽が芽吹くお茶畑で、園児の皆さんとお茶摘み体験
たくさん笑顔に癒されました♪